

<千葉支部 秋の催事と歴史&ハイキングサークル共催>

【茨城でトリプル社会見学 キリンビール取手工場&牛久シャトー&筑波ハム工場見学】

◆日 時 2024年10月17日 (木)

◆参加者 12名 市川・櫻井・芝原・住田・野田・平木夫妻・船渡・六角・峯松・湯浅・宮地

◆コース 8:00 JR西船橋駅⇒牛久シャトー⇒筑波ハム工場⇒キリンビール取手工場⇒17:50 JR西船橋駅帰着

10月としては暖かい17日(木)7:50にJR西船橋駅に12名が集合。阪急交通社の日帰りバスツアーに参加する形で千葉支部秋の催事をスタート。バスは総勢44名で、東京外郭道路・常磐道を経て「牛久シャトー」到着。神谷バーの創設者の「神谷傳兵衛」が明治36年に日本で最初に開設した葡萄畑も併設され日本文化遺産にも登録されているワイン醸造所。趣のある建物でワイン醸造樽などを見学したのち、赤・白・ロゼの美味

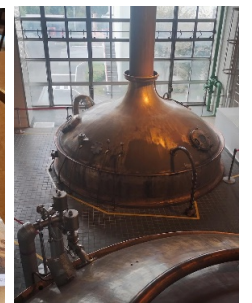
しいワインを朝の10時から試飲し皆さん良い気持ちに。併設されたショップでワインなどのお土産品を買い求めました。

次の訪問先はハム工場つくば陣屋ハム業界黎明期からのハム工房で

全国有数の養豚出荷頭数を誇る茨城の最高品質豚『常陸の輝き』を原料に手造りしているハムは絶品。少々お値段が高かったですが、皆さん結構買っていました。敷地内には老舗の煎餅屋や手作りパン工房なども。

お腹がすいたところでお昼ご飯を兼ねて、今評判の道の駅常総へ。美味しい海鮮丼を道の駅の休憩コーナーで頂き、その後地元の農産物やお土産品の売り場へ。先月品不足だった新米がたくさん並んでいましたがさすがに買われている人は居ませんでした

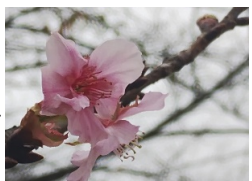
最後は本日もメインイベント「キリンビール取手工場」へ。平日故かバスツアー以外の人はごく少数でした。44人が2組に分かれ、それぞれに説明のお嬢さんが付きキリンビールのビール作りの歴史からスタートし、キリンビールが一押ししている「一番搾り」について解説。ホップの現物を手に取り香りを楽しみ、麦芽は口に含んで香ばしい味わいを体感しました。30万本分の缶ビールを醸造できる今は使っていない銅製の醸造窯や、120万本分の醸造ができる現在のステンレス製の醸造窯を見学したのちに、いよいよ試飲コーナーへ。まさに[工場直送]の一番搾りで乾杯！。次に「一番搾り」「プレミアム一番搾り」「一番搾り黒ビール」の飲み比べ。ワイングラスに入った3種類を解説を聞きながらおいしく頂きました。



キリンビールの工場見学は楽しくはありましたが、少し宣伝が過ぎると、瓶詰めなどの実際の生産ラインが見学できなかったのが今一つの感はありましたが、三つの工場見学を皆さんそれなりに楽しんでいました。

今回の参加者は全員70歳以上、皆さんお元気ではありますが平均年齢78.3歳で、年々参加者が減少するなかであり、来年以降の開催については不安が残るところです。

10月になっても夏が続く気象のせいか「紅葉」は全くと言ってよいほど見られませんが、河津桜が数輪咲いていたことをお知らせしておきます。



<秋の催事>世話人 宮地 歴史&サイクリングサークル幹事 湯浅